

## フランス語オススメ学習法【入門編6】難しい発音を練習するコツ！



発音

は

フラ

ンス語を

話す上でとても重

要なことの一つです。いくら流暢に

フランス語を話しても、**発音が正しくなければ通じません**。今回は

フランス語における発音の大切さとその勉強法についてお話しします。

### なぜフランス語では発音が大事？

フランス語を習い始めたきっかけが、”美しい発音のフランス語に憧れたから”という方も多い

のではないのでしょうか。フランス語において、  
発音、イントネーション、  
リズム感は美しいフランス語を奏でる上でとても重要なことといえるでしょう。

一昔前、フランス語を綺麗に発音することは教養を身につけると同じくらい重要視されていたようです。フランス語において発音がどれほど大切なことなのかがわかりますね。

## 発音が悪いと通じない？！

---



筆者の体験談をお話します。フランスで語学学校に通っていましたが、発音のクラスはありませんでした。ただ、先生は日本人の発音に慣れていたせいか、筆者のフランス語が通じないということはさほどありませんでした。

しかしその後、発音の大切さを身にしみて痛感する 때가訪れました！現地の会社に勤務し始めたとき、フランス人と対等に会話しなければならない状況におかれたのです。

筆者のフランス語に対して聞き取りにくそうな顔をされたり、「言っていることがわからない。」とフランス語が通じないこともありました。このように、日本人の発音に慣れていない人には理解されにくいということもあるのです。

## 発音の癖を直すことは困難

---

そしてフランス語上級者になったとしても、  
**一度癖がついた発音を治すことはとても困難なこと**

です。それに、上級者になってから発音を意識しながら話すことは容易ではありません。フランス人からも「わざわざ会話を遮ってまで、発音を直していくのは無理だ。」と言われます。

発音のせいで言っていることが通じない状況になる度に、**入門者の段階で発音をしっかり勉強しておけば良かったと後悔しています。**

## 日本人が苦手なフランス語の発音は？

---



フランス語の発音の中で、最も日本人が苦手とするのが**R**と**L**です。日本語ではRとLの発音に違いはなく、フランス語のLに近い音で発音しています。しかし、フランス語ではRは喉を鳴らしたように発音しなければならないので訓練が必要となります。

その他、**B**と**V**の違いや**鼻母音**が鼻から抜ける感じで発音できるようになるには、ある程度練習をしなければなりません。日本人にとってフランス語の発音は難しいかもしれませんが、大体上記の発音を気をつけるようにしましょう。

## 身につく発音の勉強法

---

それで  
は、難しいフ  
ランス語の発音はどのよう

に勉強したらよいのでしょうか。まずは、  
**ネイティブの方に発音を聞いてもらって直すことが重要**でしょう。

例えば、入門編で習うフランス語を正しい発音と一緒に読んでもらったり、自分がテキストを読んだあとに発

音を直してもらいましょう

。ネイティブに指摘された苦手な発音は、CD

な

どで

正しいフ

ランス語を繰り返

し聞いて発音してみてください。そし

て、ネイティブの方からOKサインが出るまで訓練してみましょう。

現在では[アンサンブルアンフランセ](#)などの**オンラインフランス語講座**

もありますので、日本に居ながらも簡単に発音を直してもらえる環境はあります。ぜひ利用してみてくださいはいかがでしょうか。

## さいごに

---

初心者の段階で正しい発音をマスターしておくことが、上級者になった時にスラスラと美しいフランス語が話せる第一条件です。語学を学ぶ上で、基礎をしっかりとすることはとても大切です。発音の勉強は怠らず、しっかり訓練することをおすすめします。

執筆 北川菜々子



オンラインフランス語学校

# ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

